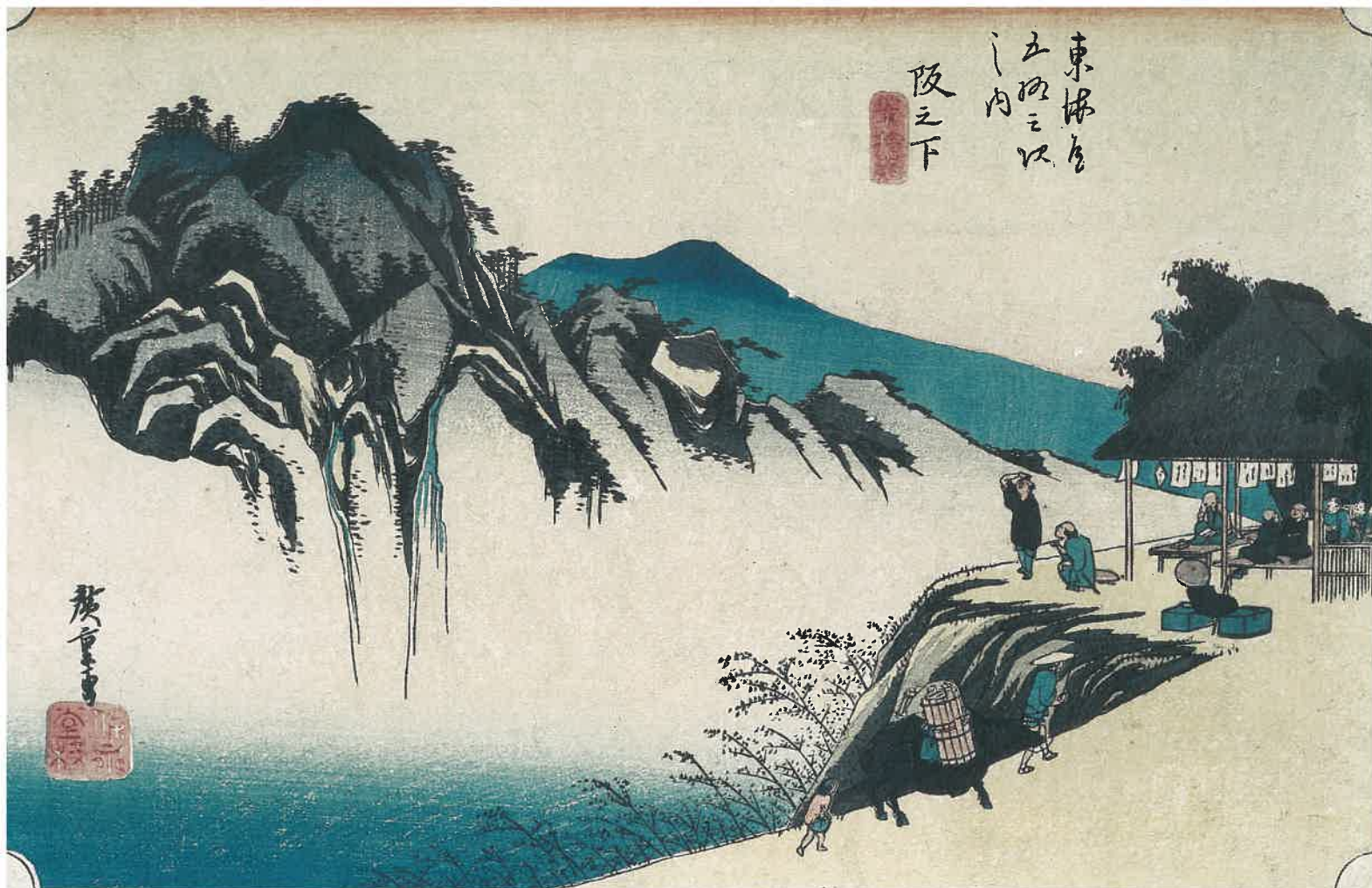
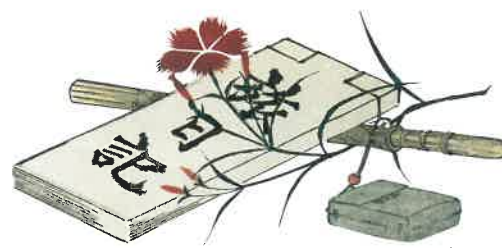




人文地域の旅



— よし え 吉田宿・植田義方の旅日記から —

2025.7.19(土) — 9.15(月)

開館時間 ● 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休 館 ● 月曜日(7月21日・8月11日・9月15日は開館し、翌日閉館)

会 場 ● 豊橋市二川宿本陣資料館

観 覧 料 ● 一般400円(320円) 小中高生100円(80円) 市内在住の70歳以上100円(80円)

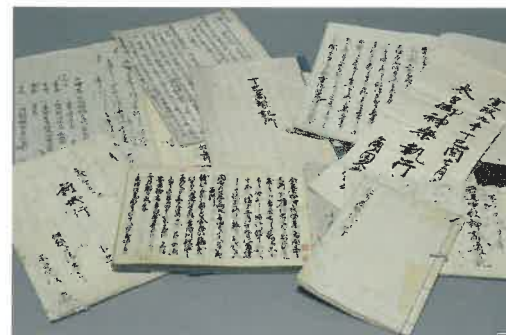
・()内は30名以上の団体料金・前売り料金、市内在住の70歳以上は団体のみ。

・前売券は購入した日の翌日から使用でき、当館のほか市役所じょうほうひろば・豊橋市美術館で販売しています。

・市内在住の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。

・ほの国こどもパスポートをお持ちの小学生は無料です。

・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です(ミラロIDが使用できます)。



1.東海道五拾三次之内 阪之下 歌川広重 江戸時代後期 当館蔵
2.東海道名所風景 口上(部分) 文久3年(1862) 豊橋市美術館蔵
3.旅日記類 植田義方 江戸時代中・後期 個人蔵

豊橋市二川宿本陣資料館

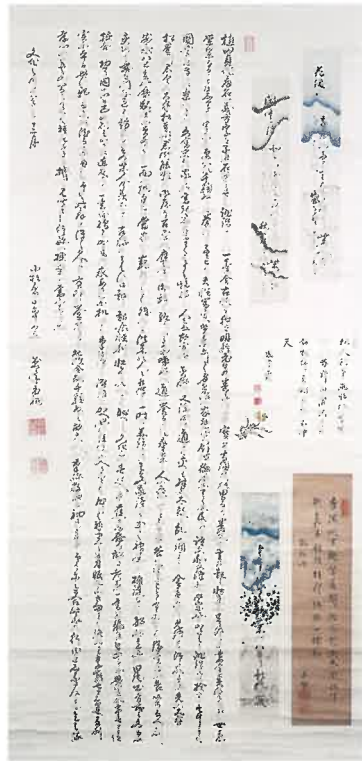
豊橋市二川町字中町65 TEL.0532-41-8580

「植田義方というひと」

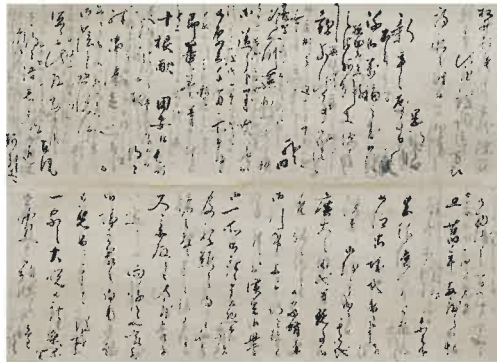
賀茂真淵の親戚、菅江真澄の初学の師

「かわいい子には旅をさせよ」

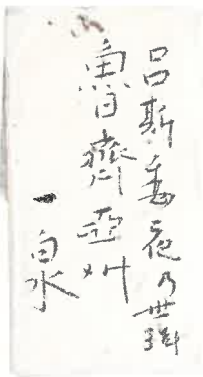
21歳、友だちとともに西国順礼の大旅行



1



2



3



4

地域文人 の旅



—吉田宿・植田義方の旅日記から—

18世紀後半に活躍した植田義方は、古市木朶とともに俳諧吉田連の指導的立場にあり、吉田宿の文化をリードした人物のひとりでした。国学者の賀茂真淵とは親戚関係にあり、東北地方の風俗を記録して柳田国男から「日本民俗学の祖」と称された菅江真澄と交流があったことで知られています。吉田藩御用商人・吉田宿役人であった義方は、国学・和歌・俳諧・漢詩・能の太鼓など多彩な知識と趣味を持ち、学者や能役者と師弟関係を結んで活動するさまは、まさに文人と呼ぶにふさわしい人でした。本展では数多く残された彼の紀行や旅日記から、江戸時代の旅の様子を紹介するとともに、各地の知識人たちとの交流のあとを辿ります。



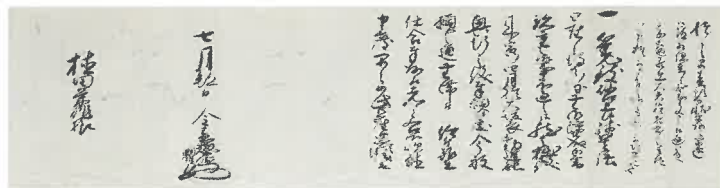
5

「東海道を歩くか、伊勢湾を渡るか」 たびたび訪れた伊勢神宮



6

「旅行先での交流」 詩歌・芸事を通じた交わり



7

1. 植田義方行状記・短冊懐紙貼交
東観音寺萬年・植田義方 文化3年(1806) 個人蔵
2. 植田家から送られた燕に対する礼状
賀茂真淵 寛延3年(1750) 個人蔵
3. 菅江真澄から送られたロシアのコイン
享和元年(1801) 個人蔵
4. 双筆五十三次 銭井
歌川広重・歌川豊国Ⅲ 安政元年(1854) 当館蔵
5. 京都から持ち帰った賀茂葵
宝暦4年(1754) 個人蔵
6. 伊勢名所図会
五雲亭貞秀 江戸時代後期 当館蔵
7. 太鼓の師金春惣右衛門からの書状
金春国惟 天明元年(1781) 個人蔵

ギャラリートーク

7月19日④、8月23日④ 14:00から

講師◎当館学芸員 入館料のみ



夏休み本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」

8月23日④・24日④

申込み 8月1日④〜7日④

詳しくはホームページをご確認ください。

菊の節句—重陽—

9月6日④—15日④

本陣内でオカザ人形などを展示
入館料のみ



第11回「灯笼で飾ろう二川宿」

7月26日④

・点灯時間19:00-21:00

・交通規制18:00-21:30

(旧東海道・二川駅前から二川一里塚跡「川口屋」まで)

・資料館部分は、点灯時間中無料開館します。



豊橋市二川宿本陣資料館

441-3155 豊橋市二川町字中町65
TEL.0532-41-8580 FAX.0532-41-8940
<http://www.futagawa-honjin.jp/>

二川本陣 検索

